

令和5年度市全体の店舗調査集計結果の概要と考察

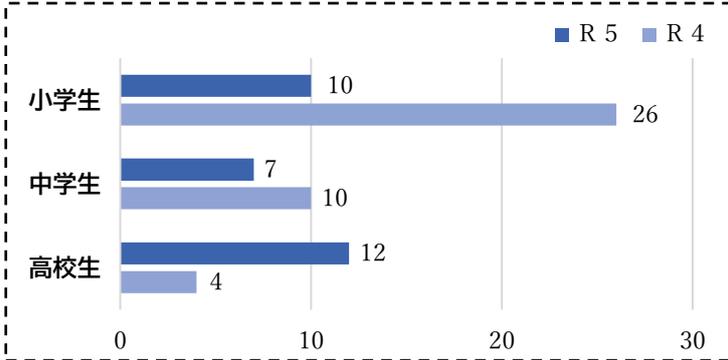
★調査協力店舗数 計98店舗

★地区別調査店舗数

地区名	調査店舗数	地区名	調査店舗数	地区名	調査店舗数
南流山	15	八木	9	常盤松	10
南部	12	東深井	11	西初石	8
東部	8	北部	10	おおたかの森 おおぐろの森	15

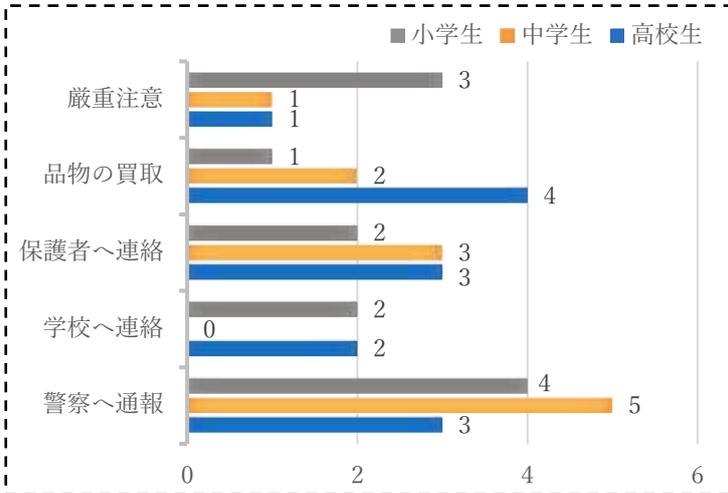
■調査結果の現状について

①小売店等における年齢別万引き件数（上がR5年度）



① 昨年度は40件でしたが、今年度は29件と減少しました。小学生が半数以下に減りましたが、高校生の万引きが3倍に増えています。幼少期など早い段階から子ども達の規範意識の育成が必要です。

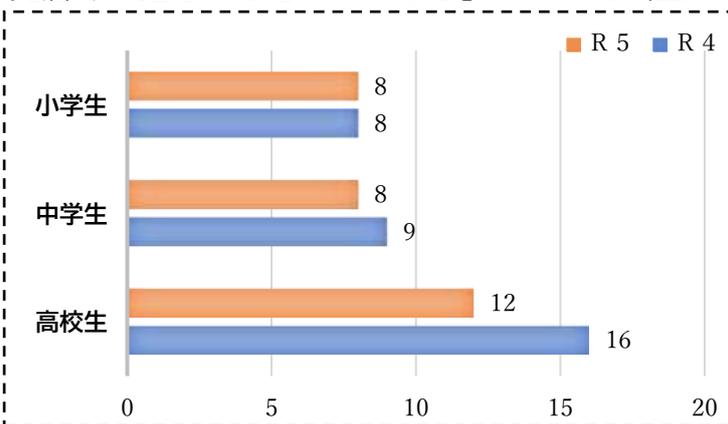
②小売店等における万引きへの対応内容 ※複数回答含む（上から小中高）



② 万引きへの対応は、警察へ連絡、保護者へ連絡して買い取りが多くを占めています。また、聞き取り調査から、高校生の万引きが増加していることや大型店舗での増加が目立ちました。

保護者が一義的責任者として、家庭で十分に指導し、再犯を防止することが大切です。

③小売店等が迷惑だと思ふ「たむろ」について（上がR5年度）

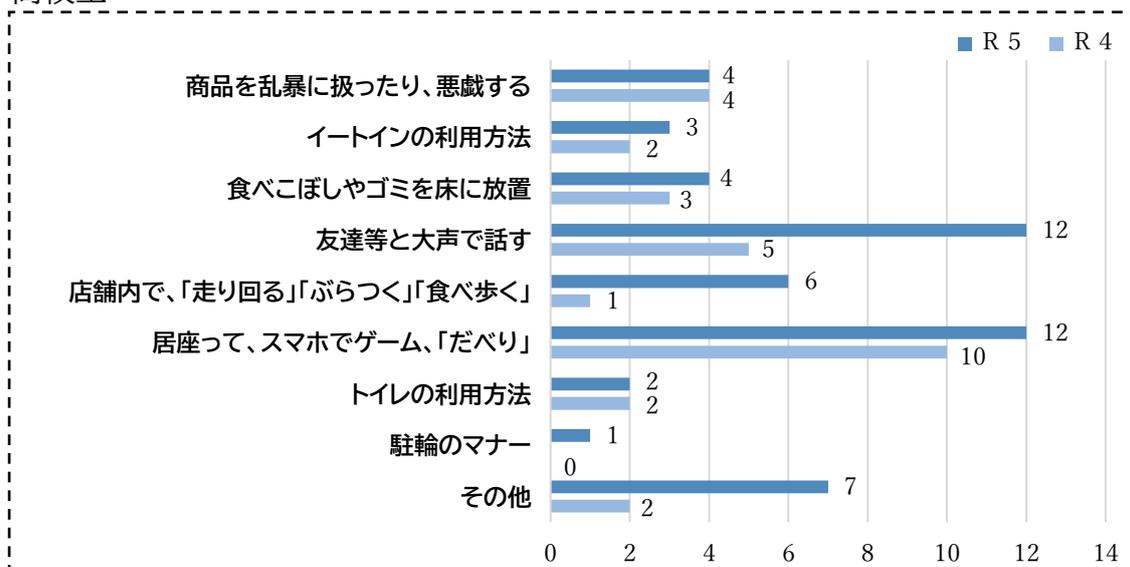


③ 昨年度から減少傾向にありました。店舗入り口付近、店舗前でのたむろが目立ち、他の来店者の妨げになると注意を促してくれています。また、商品を買わずにゲームをしていることも多くあると困り感をもっています。一つのマナーとして子ども達に教えていけたらと思います。

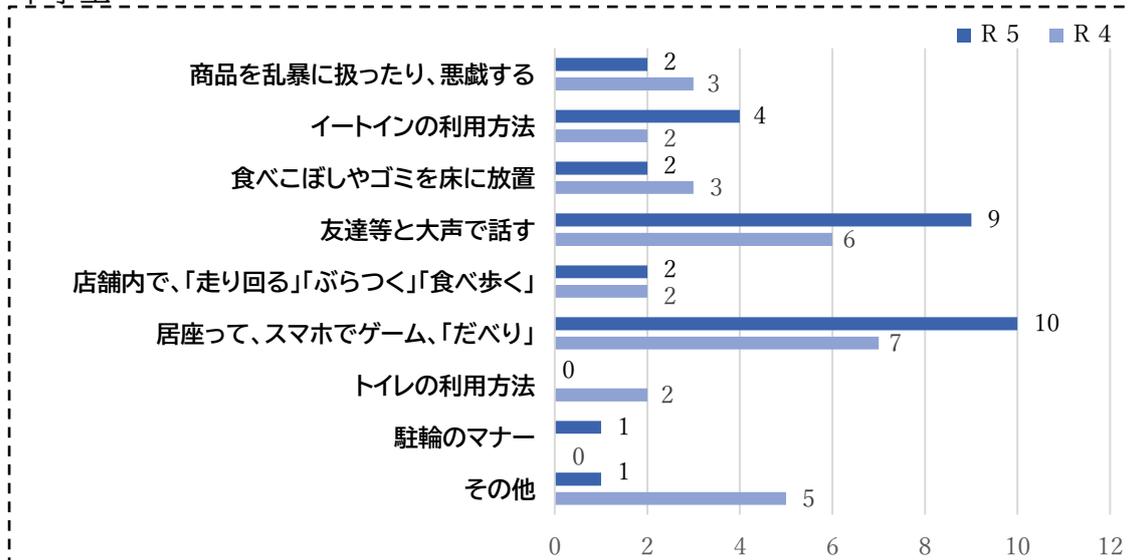
④小売店等において利用マナー等あまり良くなかった、悪かった内容の学校種別

(全て上がR5年度)

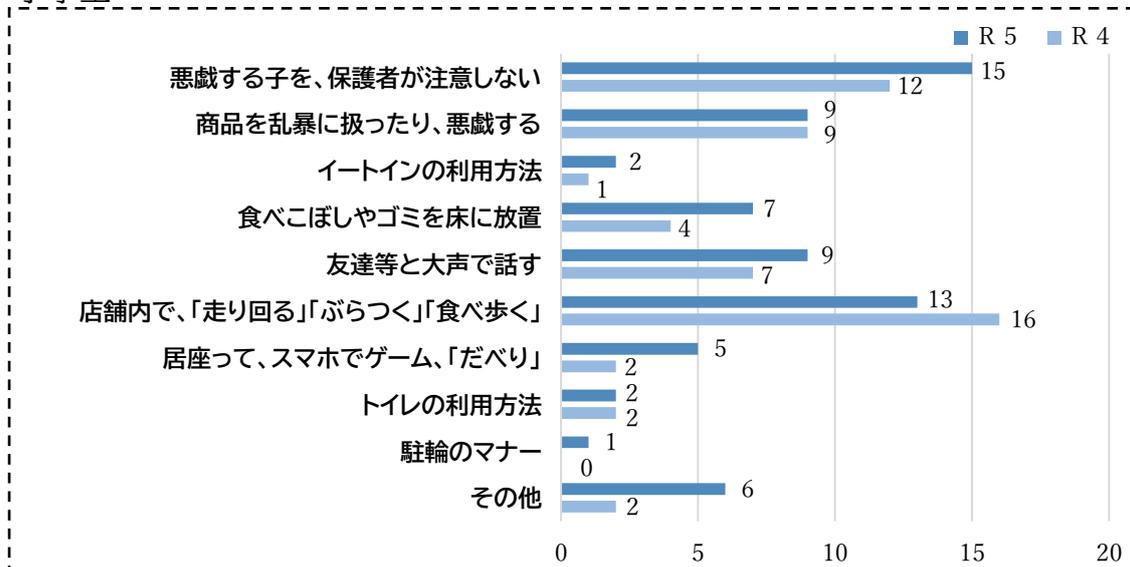
・高校生



・中学生



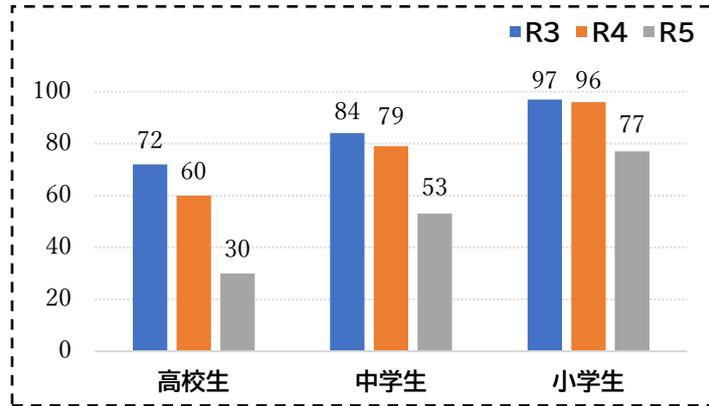
・小学生



- ④ どの学校種においても大声で友達と話すことについて課題があることがわかります。マスクの着用が自己判断となり、マスクをせずに話すことが増えたことも一因として考えられますが、マナーに関することは、幼少期に大人がしっかりと教えていくことが大切であると言えます。また、子どもの頃にきちんと規範意識を育てることは、将来の非行や犯罪への防止策となります。

また、聞き取り調査の中で、「悪戯する子を保護者が注意しない」などの回答が多く挙げられました。自分の行動が人に迷惑をかけないか、かけていないかどうか、といったことを考えられる子どもは、きちんとした大人に成長していくと思います。そのためには、身近にいる大人達の子供達に対する関わりや日常的な行動を考え、正しく教えていくことなどの直接的な働きかけも大切なのではないのでしょうか。

⑤ 携帯電話等契約時におけるフィルタリング利用状況（左からR3年度）



⑤ フィルタリングの利用状況は、協力いただいた店舗からの回答によると、R3年度からR5年度の3年間でどの学校種も低下しています。特に、高校生の半数以上がフィルタリングを利用していないという状況です。フィルタリングは有害サイト等の閲覧を制限するもので、子どもたちの安全を守るものです。アプリなどを使用するために利用していないこともあるようですが、事件・事故に巻き込まれないためにも再度考えることが必要なのではないのでしょうか。

今年度、携帯会社店や取り扱い店舗の聞き取りの中で、保護者のスマートフォン等の暗証番号を調べたり知っていたりして、課金をしてしまい高額請求になってしまったという内容がありました。親子間での約束事を今一度確認し、トラブルに発展しないようにしていくことが大切であると考えられます。

今年度、携帯会社店や取り扱い店舗の聞き取りの中で、保護者のスマートフォン等の暗証番号を調べたり知っていたりして、課金をしてしまい高額請求になってしまったという内容がありました。親子間での約束事を今一度確認し、トラブルに発展しないようにしていくことが大切であると考えられます。

なお、契約時には各店舗でフィルタリングの説明はしているとの回答をいただいています。

多くの店舗にご協力いただき、聞き取り調査でも具体的にお答えいただいている店舗が多いため、子ども達の地域や学校外での姿について知ることができました。また、実行委員の方々の丁寧な聞き取り調査や会議での話し合いの結果と言えます。

来店する子ども達が店舗を走り回ったり、ごみを放置したりするなどの行動を見かけた時は、声かけをしている店舗がいくつもありました。また、特定の子供が複数の友達に何かを買っていたこと、高校生のたばこの購入への対応についての記載がありました。

調査を通して、地域の一員でもある各店舗とも情報共有していきながら、互いに良好な関係づくりをしていき、地域全体で子ども達の安心・安全を見守っていくことが大切だと思います。

市全体の調査結果についてまとめました。各地区の詳細に関しては、今後、流山市のホームページで公開する予定です。